

日本の歴史を伝える忍者

筑波大学附属小学校 五年 平下 愛真

私は忍者になりたい。二・三年前から、大人になったら、皆にできないようなすごいことができるようになりたいと考えるようになっていた。

忍者は、室町時代から江戸時代にかけて活動していたが、明治時代に入ると警察・日本陸軍・日本海軍が創設されたことで、忍者の仕事はなくなりました。それでも今なお私はテレビやテーマパークなどで忍者を目にすることができ、私達が大人になる頃には、現在の仕事の多くがAIに奪われてしまうと言われている。新しいことを追求する仕事ばかりに目が行きがちだが、過去を大切にすることを存在しなければならぬと思う。なぜなら、今ここに私が存在するのは、父母のそのまた父母の父母といった、脈々と繋がる命の鎖があるからこそである。だから、私は日本の伝統を子どもたちに伝えていきたい。それは学校で教科

書を読んで学ぶのではなく、実際に体験してもらいたい。

しかし、どうしたら忍者になれるのかが分からない。近所に忍者体験施設ができたので忍者修行を体験しに行った。体験が終わってから、忍者に直接話を聞くことができた。忍者には三つの種類があると教わった。市民に体験してもらう忍者、テーマパークで活躍する忍者、そして映画などに出演する忍者である。私は映画に出演する忍者になりたい。

話を聞いた忍者の一人は、有名な映画に出演している方だった。「小さいうちに、体操や日舞を習っておくとよい。普段の生活で使わないような筋肉を鍛えることができる。一般人は、普段の生活で自分の持つ力のわずかな力しか使っていない。自分の持つ力を十分に活かして生活してみると、今までとは違った感覚で生きることができる」とアドバイスをも

らった。

また、忍者は貧しい暮らしをしており、豆などからタンパク質を補っていたそうなので、栄養にも気をつけたい。修行するための有名な道場も教えてもらった。

忍者について調べていくと、伊賀忍者で知られる三重県にある三重大学の大学院で忍者・忍術学を学べることが分かった。忍者は研究が進んでいない分野で、二〇一八年にこの学部ができた。大学院には紹介してもらった道場の先生もいるので、私もぜひそこで学びたいと思う。忍者は全国にいて、沢山の流派があるそう。コロナが終息したら、全国の忍者に会いに行ってみようと思う。

私はプログラミング教室に通っている。将来忍者に関するホームページを作りたい。そして、今の目標はバク転ができるようになること。毎日倒立をして、ブリッジができるようになれば、バク転ができるようになると思う。自分にできる修行を続けていく。

平下 愛真 のライフプラン

将来なにになりたいか? 忍者

その理由: 昔、実際に日本にいた忍者のことを、たくさんの人に知ってもらいたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	10 (小5)	プログラミング	授業料、塾、習い事代
2022年	11 (小6)	受験勉強 英語	
2023年	12 (中1)	中学入学 体操 日舞	入学金
2024年	13 (中2)	運動系の部活を頑張る	
2025年	14 (中3)	受験勉強	
2026年	15 (高1)	高校入学	
2027年	16 (高2)	運動系の部活を頑張る	入学金
2028年	17 (高3)	受験勉強	
2029年	18 (大1)	大学入学・ホームページを作る 事務所のオーディションを受ける	
2030年	19 (大2)	栄養分のことについて知る	入学金
2031年	20 (大3)	忍者について調べる	
2032年	21 (大4)	合格したら事務所で修業訓練	
2033年	22	忍者としてショーに出演	ライブ代、生活費
2034年	23	日本公演 国内外向けのホームページも手がける	
2035年	24	ドラマ、映画のオーディション 受験、公演	
2036年	25	海外公演	
2041年	30	三重大学院に社会人入試で入学 忍者の知識を深める	授業料、入学金

※最後の行は、何歳か時にならなりたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!